

エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループ経過報告・今後の予定

1 H 2 2 年度 第 1 回エゾシカ・陸上生態系 WG の概要（平成 2 2 年 5 月 2 9 日開催）

（ 1 ）主な議題

- ・ H 2 1 シカ年度エゾシカ保護管理計画実行計画実施結果報告
- ・ 知床岬におけるエゾシカ密度操作実験の評価と今後の進め方
- ・ ルサ相泊地区における新たな捕獲手法の試行状況と今後の進め方
- ・ H 2 2 シカ年度エゾシカ保護管理計画実行計画案
- ・ 世界遺産委員会等からの勧告への対応について

（ 2 ）知床岬における密度操作実験の実施結果

- ・ 効率的な捕獲の実施のため、2 月にヘリコプターによる宿泊での捕獲を 1 回行うとともに、1 月から 4 月までに大人数による船舶での日帰り捕獲を 3 回実施した。
- ・ ヘリコプターによる宿泊での捕獲により 8 6 頭を捕獲し、十分実用的な手法であることが確認された。

（ 3 ）知床岬の密度操作実験の評価と今後の進め方について

- ・ 3 年間の密度操作実験により、合計 4 1 2 頭を捕獲し、実験開始時の推定越冬数を半減させることには成功した。
- ・ 捕獲による個体数の減少と攪乱による忌避効果により、植生にも若干の回復傾向が見られた。
- ・ よって、引き続き知床岬地区において、中長期的に密度操作実験を実施する。
- ・ エゾシカの密度を 5 頭 / k m² 程度を暫定的な目標としつつ、個体数密度や植生の回復状況等をモニタリングする。
- ・ 捕獲効率を向上させるため、銃猟による捕獲の補助を目的とした、知床岬地区を横断する仕切柵の設置を実施する。
- ・ 知床岬等において希少猛禽類の生息に配慮したエゾシカ対策を推進するため、WG 委員と希少猛禽類専門家による「希少猛禽類の保全とエゾシカ対策の実施に関する意見交換会」を設置しており、希少猛禽類の生息に配慮した捕獲を実施する。
- ・ ルサ相泊地区において、効率的な捕獲手法について引き続き検討を進める。
- ・ 隣接地区で試行した輪採制は明確な成果が得られなかったため平成 2 2 年度は実施せず、斜里町の一部の地域で可猟期間に複数回の中断期間設定を試行し、その効果の検証を行う。

	H 1 9 シカ年度	H 2 0 シカ年度	H 2 1 シカ年度
メス成獣捕獲頭数	8 6	7 2	8 3
総捕獲頭数	1 3 2	1 2 2	1 5 8

2 今後の主な予定

平成 2 2 年 1 0 月頃 第 2 回エゾシカ・陸上生態系 WG

平成 2 2 年 2 月頃 第 3 回エゾシカ・陸上生態系 WG

- ・ 密度操作実験の実施及びエゾシカ保護管理計画の見直しが主要検討課題